

あいち農産物生産流通レポート

平成23年6月号

情報サロン		
・あいち食育いきいきプラン2015について	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・瀬戸市の道の駅「瀬戸しなの」に農産物直売所オープン	(尾張農林水産事務所)	2
東日本情報		
・「ベジマルシェ」の新しい販売の取り組み	(東京事務所)	3
西日本情報		
・大玉トマトの袋培地栽培の夏期高温対策技術を開発	(農業総合試験場)	5
フラワーページ		
・県花き連鉢物PR委員会による鉢花義援プロジェクトについて	(園芸農産課)	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年3月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

あいちの食育は、啓発から実践へ！

～「あいち食育いきいきプラン 2015」ができました～

平成 23 年 5 月 13 日（金）に開催された愛知県食育推進会議（県条例により設置。知事が会長）において、平成 23 年度から平成 27 年度までを計画期間とする新たな食育推進計画「あいち食育いきいきプラン 2015」が作成されました。

基本コンセプト『啓発から実践へ』

平成 18 年度に作成した第 1 次プランに基づき食育を推進した結果、県民の食育に対する認知・関心は高まりましたが、食生活での実践はまだこれからです。

今後は、次のステップとして、県民一人ひとりが主体的に食育を実践するよう、関係者が連携・協力して取組を進めます。

目指すべき姿

前プランからの本県の特徴である、以下の 3 本の柱に着目した食育を継承します。

食を通じて健康な「体」をつくります

食を通じて豊かな「心」を育みます

食を通じて「環境」に優しい暮らしを築きます



5 月 13 日の食育推進会議の様子

新プランの主な特徴

（1）実践に向け、取組手法を工夫

ライフステージと生活場面に応じた食育

あらゆる世代の県民が生涯にわたって健全な食生活を送れるよう、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めます。

みんなでいっしょに進める食育

食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を活かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開します。

（2）実践に向け、踏み込んだ取組を実施

「体」に関する新たな取組	...	高校における食育の充実	
		高齢期における食による健康維持	等
「心」に関する新たな取組	...	学校での継続的な体験学習のための環境づくり	
		高齢者による食事作法や食文化の継承	等
「環境」に関する新たな取組	...	外食時における食べ残し減量策の促進	
		フードバンク活動の普及啓発	等
食育を支える新たな取組	...	地域食育推進支援会議の開催	
		活動主体同士の連携企画の促進	等

瀬戸市に「道の駅 瀬戸しなの」がオープンしました！

平成 23 年 3 月 26 日(土)、瀬戸市品野町の東海環状自動車道インターチェンジ「瀬戸しなの」から約 5 分の県道沿いに「道の駅 瀬戸しなの」と、その施設の一部として農産物販売所「産直とれたて市場」がオープンしました。

「道の駅 瀬戸しなの」は、登り窯をイメージした大きな煙突が目印の建物で、「陶磁器の町」である瀬戸市を印象づけています。瀬戸市内で生産された農畜産物を、美しいせともの「器」と共に頂くことができる食堂や、陶器の装飾壁が特徴的できれいなトイレ等、瀬戸市ならではの道の駅となっています。

瀬戸市では、農業産出額の半分以上が畜産で占められています。「産直とれたて市場」では、瀬戸内で生産された豚を加工したハムやソーセージ、卵やその加工品(プリン、焼き菓子)等の商品が人気です。特にハムやプリンは、「おいしい!また食べたい!」と再び購入に訪れる人も多いそうです。



多くの人で賑わう「産直とれたて市場」



せともの「器」と地元農産物のコラボ

「せとめし食堂」で使う豚肉、ソーセージ、米、米粉のホットドックやうどんは、全て瀬戸市内で生産されたものであり、せともの「器」とのコラボレーションを楽しみながら、瀬戸の味を堪能することができます。オープンして1か月以上たちましたが、平日でもお

昼前後には食堂や「産直とれたて市場」のレジには行列ができて、賑っていました。

駅長の中島功氏は、「都市近郊型の道の駅として、今後も名古屋近郊の方に家族で遊びに来てもらえる道の駅を目指したい。オリジナル商品の充実はもちろんのこと、家族でたっぷり楽しめるイベントの企画、近隣観光地との連携等も図っていきたい。」とこれからの方向性を話していました。「道の駅だより」やホームページ(「道の駅 瀬戸しなの」<http://www.setoshinano.jp>)、駅長ブログ等で定期的に情報発信もしています。ぜひ、「道の駅 瀬戸しなの」で、瀬戸の「おいしい!」を体感してください。

「道の駅 瀬戸しなの」は、いいともあいちネットワーク会員として、地産地消を推進しています。

名称：道の駅 瀬戸しなの

所在地：愛知県瀬戸市品野町 1 - 126 - 1

主な施設と営業時間：

・産直とれたて市場 9時～18時

・せとめし食堂 9時～17時(ただし、11～14時以外は軽食のみ)

お問い合わせ先：「道の駅 瀬戸しなの株式会社」 電話 0561-41-3900

「ベジマルシェ」の新しい販売の取り組み - 野菜のもつ力で健康になる -

日本人の平均寿命は 83 歳となり、世界一の長寿国となりました。しかし、健康で過ごせる期間は 75 歳までで、残りの 8 年間は何らかの障害を持って生活しています。65 歳以上の高齢者が人口の 23% となり、毎年、高齢化が進む中、国民医療費も増加し、国家予算を圧迫する要因となりつつあります。

こうした状況の中、近年、日常生活の中で生活習慣を見直し、病気にかからないようにする予防医学が注目されています。

今回、紹介するデザイナーフーズ株式会社(本社：名古屋市)は、外食産業にカット野菜などを供給するデリカフーズの関連会社ですが、物量や形状、揃いといった外観で評価される青果物流通のあり方への反省から、健康に役立つ機能性成分等に着目し「農場から食卓に健康を届ける」をモットーに、新しい青果物の品質評価方法を独自に作り上げました。

11 年間にわたり約 2 万検体の機能性成分等を分析した結果から、青果物を以下のように抗酸化力、免疫力、解毒力等のカテゴリーに分類しています。

抗酸化力野菜：活性酸素 (DPPH) を消す力を評価。太陽 (紫外線) の下で育つ春から夏にかけて育つ野菜が多くもっているリコピン、アントシアニン、イソチアシアネートなどの抗酸化物質を多く含む野菜。パプリカ、イチゴ、おおば、ピーマン、キウイ、ブロッコリー、ほうれんそうなど。

免疫力野菜：野菜の抽出液をマウスに投与し、血液中の TNF- α という癌細胞を壊死させる物質の量で免疫力を評価。免疫力の高い野菜は、秋から冬にかけて育つレタス、ハクサイ、ダイコン、コマツナ、ブロッコリー、ほうれんそうなど。

解毒力野菜：食物繊維及び肝臓に關与した酵活性の量で評価。免疫力の高い野菜はキャベツ、わさび、ニンニク、ショウガなど。

これらの青果物を組み合わせて食べることで、より機能性の高いメニューをつくることができ、健康に配慮した食生活を実現できます。



ベジマルシェの全景



抗酸化系野菜の販売コーナー

デザイナーフーズ(株)では、これら研究成果を普及・啓発するためのショールーム「ベジマルシェ」を昨年8月、赤坂アークヒルズ内にオープンしました。店内には、「抗酸化力系」、「免疫力系」及び「解毒力系」等の野菜コーナーが設けられ、品目ごとに販売価格、産地名、品種名及びコメントが添えられています。

取り扱う野菜は、機能成分が最も高くなる旬の時期のみに限定した販売としている点が一般のスーパー、量販店とは大きく異なっています。

アンチエイジングをうたったコーナーでは、抗酸化力が 印の数で評価され、それに応じて価格がつけられています。この抗酸化力の評価は、抗酸化力を非破壊で計測できる近赤外線装置を開発したことで可能となったそうです。



抗酸化力の表示があるコーナー

なお、長年の研究から、抗酸化力の高い青果物は、おいしいことがわかってきているようですが、実際に試食品が置かれており、来店客が食味を確認できるようになっています。

生鮮食品の他にも、抗酸化力の優れた茶、醤油、アマニ油等の加工食品の販売もあります。

その他、ヘルシーエイジングサラダ、免疫サラダ、抗酸化ジュースなどが冷蔵販売されています。ランチタイムには、ビジネスマン向けにそれらのサラダ、ジュースの他、野菜のいなりや野菜入りシフォンケーキなどを店頭で販売

していますが、固定客もできて好評なようです。

ベジマルシェでは、週1回、消費者を対象としたセミナーを開催し、野菜の機能性に関する知識の普及にも取り組んでいます。さて、ベジマルシェの取り組みは、実現すれば「農業」や「医療」のあり方が変わるほど壮大なチャレンジではないかと考えます。

その点で今後は、医・食・農・工に関わる企業等と連携した取り組みや「ベジマルシェ」の活動に賛同や理解を示す消費者、小売店の増加が一層期待されます。



免疫サラダ

大玉トマト袋培地栽培の夏期高温対策技術を開発

～暑い夏でもおいしいトマトが栽培できます！～

1 開発の背景・ニーズ

袋培地を利用した大玉トマトの栽培(写真1)は、平成22年の導入面積が約18haとなり、順調に増加してきました。近年は、市場単価の高い10月出荷や暖房費を節減できる厳冬期を避けた作型の導入などで作付が前進化し、7月定植が増えています。

しかし、7月定植では盛夏期の高温のため果実の尻腐れや生育障害が発生しやすくなります。そこで、袋培地栽培における大玉トマトの生産安定をめざし夏期高温対策の開発に取り組みました。

2 成果の内容

(1) 保水性不織布と散水による対策

袋培地に保水性不織布を掛けて、通路から散水チューブで午前9時から午後7時まで30分毎に5分間(2L/袋)散水します(写真2)(図1)。

保水性不織布に散水を行うことにより、従来の遮熱シートに比べて次のような効果が得られます。

一日の平均培地温を2 程度、最高培地温を4 程度下げることができます(図2)。

果実の尻腐れや生育障害の発生がほとんど無くなります。

10a 当たり全収量が0.9t 増加し、かつ不良果収量が0.9t 減少することで、可販果収量は1.8t 多くなります。(図3)。



写真1 大玉トマトの袋培地栽培



写真2 保水性不織布と散水チューブ
を設置した袋培地

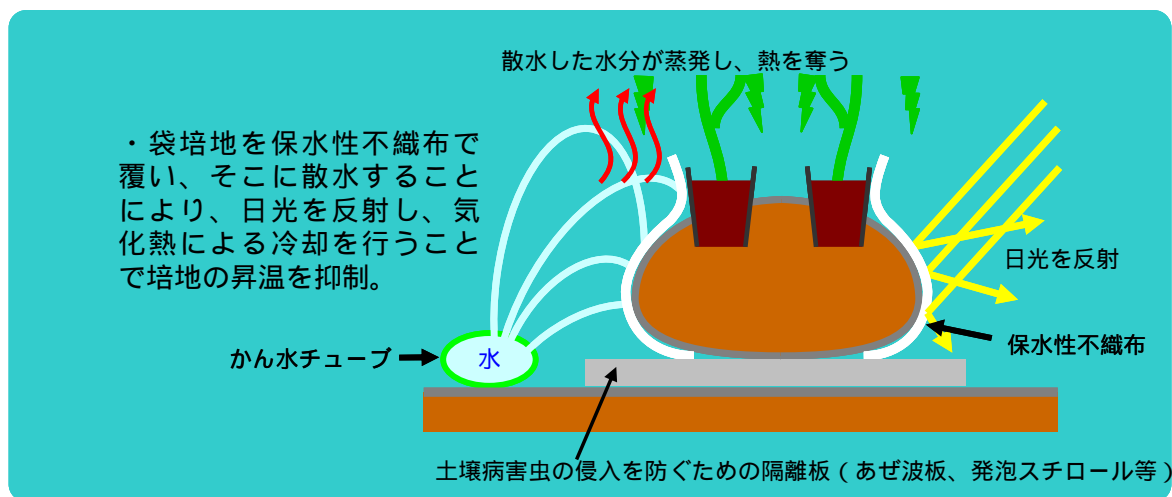


図1 袋培地温の昇温抑制の仕組み（概念図）

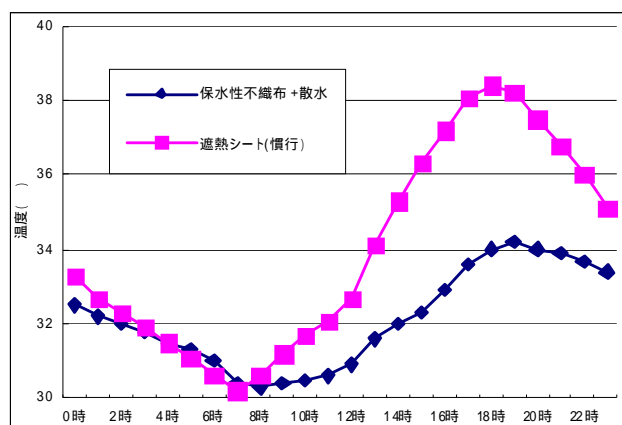


図2 培地温の日変化(平成20年8月15日)

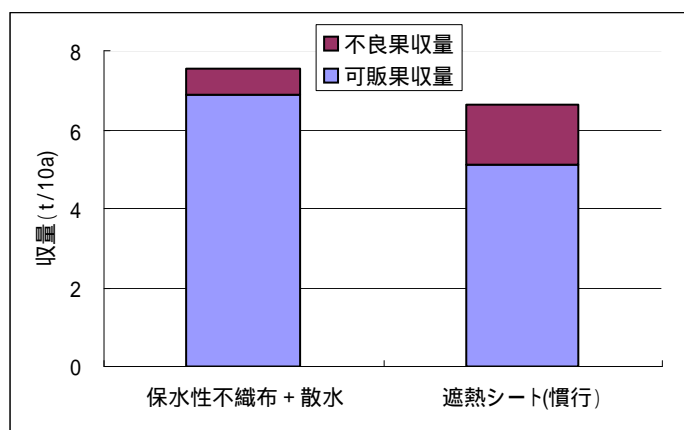


図3 収量

(2) 施肥、かん水の変更による対策

2回に分けて施肥かん水（定植から栽培終了まで）

従来は、午前6時に1回の施肥かん水(200ml/株)でしたが、それを午前6時と午前10時の2回(各回100ml/株)に分けて行うことにより、生育が良くなり、可販果収量、糖度が増加します。

かん水制御時間帯の24時間設定

従来は、午前7時～午後7時(5～9月)の時間帯でかん水を行っていましたが、それを24時間(定植から9月15日頃まで)とすることで、高温による生育障害の発生が低減され、可販果収量の増加が見込めます。

かん水に液肥を混ぜて施用すること

* 詳細は愛知県農業総合試験場ホームページにて、公開しています。

URL <http://www.pref.aichi.jp/nososi/seika/gijutujohou/gijutujohou.html>

県花き連鉢物 PR 委員会による鉢花義援プロジェクトについて

3月11日(金)午後に発生した東日本大震災により、日本全体が「がんばろう日本」を合い言葉に復興支援の声が高まる中、愛知県花き温室園芸組合連合会鉢物PR委員会(以下、「PR委員会」という。)が被災地へ花を届ける活動を実施しましたので紹介します。

1 目的

日本一の花の生産地・愛知から、県内産の花に「愛知のこころ」をメッセージとして添えて、被災地の皆さんに癒しと元気を直接届けます。

2 概要

5月21日(土)、22日(日)に名古屋市東山動植物園の「国際生物多様性の日」イベント共催事業として、「フラワーチャリティー」と題し、来園者にニチニチソウの花苗を2鉢300円で購入してもらい、1鉢は被災地へ贈るためミニプランターに植え、1鉢は家庭に持ち帰っていただきました。

また、カードに被災地へのメッセージを書いてもらってプランターに差し、花の特性・育て方をまとめた小冊子「花辞典」(企画制作:PR委員会)に今回の趣旨と励ましの言葉を印刷した中紙を挟み込んで添え、5月28日(土)、29日(日)にPR委員会メンバーが直接被災地へ届けました。

3 実績

イベントは園内2か所で開催し、動物園側ではファミリー層、植物園側は中高年層を中心に多数の参加を得て、プランター植えの花、メッセージカード及び花辞典の3点セットを2日間で計1,500個つくりました。

参加者にプランター植えを体験してもらう中で、花の育て方についてのアドバイスを行ったり、花を生活に取り入れることの大切さを話すことができ、あいちの花のPRと花育、並びに消費者とのコミュニケーションが図られました。

「とても強い花だと聞きました。花をいっぱい咲かせて下さい。愛知から応援しています」「今日、娘が2歳になりました。娘といつか旅行に行きます」など心に響く応援のメッセージがたくさん集まりました。

被災地への輸送・配布では、愛知ボランティアセンターによる輸送時の案内、現地での荷下ろしの支援を受けながらPR委員会メンバーが作業しました。宮城県、福島県の各地で多くの被災者に広く花を手にとってもらえることができ、「あいちの花」と「愛知のこころ」で多くの笑顔を被災地で咲かせることができました。

代金と、併催した即売会での売上は、被災地への義援金として寄付されました。

4 成果が上がったポイント

(1) 愛知県の花き生産者の強い意志と高い行動力

低迷が続く農業情勢の中でも、「我々が今すべきことは何か」を考え抜いた“日本一の花き産地の生産者”としての使命感、花を活かした企画の提案力、協賛企業の開拓や資材調達などの行動力が発揮されました。

(2) 気持ちの込もった企画

毎日のように次から次へと花を咲かせる「ニチニチソウ」は、日々進む復興へのイメージに重なるものでした。

協賛企業の協力等により代金を300円に設定できたことから、手軽に参加でき、かつ質の高い義援イベントとして参加者の満足感を高めることができました。

参加者に「被災地でも同じ花が咲いている」と思いをはせてもらうため、同じニチニチソウを1鉢家庭に持ち帰ってもらうとともに、小冊子「花辞典」をプレゼントし花への関心を高めてもらうようにしました。

(3) 関係機関との連携

集客力の大きい名古屋市東山動植物園における「国際生物多様性の日」イベントと共催できました。

用土・プランターの無償提供、輸送用トラックの調達、メッセージカード等の印刷など多くの企業に賛同、協力いただきました。

愛知ボランティアセンター等との調整により被災地での受入れ先がスムーズに行えました。

報道機関へ積極的な情報提供を行うことにより、新聞やテレビニュースを見て「このイベントに参加するために来園した」という参加者もありました。

被災地では、未だ生活物資の供給が不足する地域もあり、狭い空間での共同生活が長引く中で、精神的な疲弊が増していると伺っています。一方、様々な地域で「花壇づくり」に取り組む動きもあり、被災後2か月が経過し徐々に心の安らぎや未来への希望を求める機運も高まっています。花やその生産者が果たす役割は、今後さらに高まるのではないのでしょうか。

今回の取組が「愛知のこころ」と東北の人々の心を結びつけ、ニチニチソウの花言葉でもある「生涯の友情」になるものと信じています。

【参 考】

愛知県花き温室園芸組合連合会 鉢物 PR 委員会・・・

愛知県花き温室園芸組合連合会の会員のうち、観葉植物、鉢花、洋らん、和物の生産者で組織され、花のある暮らしや鉢物の消費拡大等を図るための活動を実施している組織。平成10年から「花カレンダー」の作成などを行っている。

委員長 犬塚 和義（いぬづか かずよし）

委員数 16名（平成23年5月現在）



東山動植物園でのイベント

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中心卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	23	21 (%)	1,710	1,690	愛知 (92%) 高知 (4%) 大分 (3%)
23年見通し	22	—	1800	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>主な産地は東三河地域で、今年は雨が続いてはいるものの、生育は順調である。震災の影響で茨城県産が減っているため、愛知県産の京浜市場への引き合いが強く、中京地域では出荷が減っている。単価は昨年に比べ上がってはいるが、例年下がってきているため、農家の生産意欲が減ってきており、入荷量も減少気味である。</p>			<p>おおばは業務向けが中心のため、震災以降の自粛ムードや、つま物として使われていたユッケの消費の減退により、販売不振となっている。</p> <p>刺身と一緒に食べられることが多いので、例年気温が上がってくると薬味としての需要が上がるが、販売促進をしすぎると単価が下がる傾向にある。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	608	105 (14%)	982	1,019	佐賀 (62%) 愛知 (14%) 大分 (10%)
23年見通し	580	—	920	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>佐賀を中心に愛知、九州地域から入荷する。ハウスみかんの加温面積は愛知、大分両県が昨年と比べて減少し、佐賀はグリーンハウスからの移行があり増加している。佐賀、愛知とも好天に恵まれ、生育は順調で玉伸びも良好。大分は生育がやや遅れ6月の入荷は増える見込み。各産地ともに盆需要を出荷の中心にシフトしてきており6月の入荷はやや少なめと予想されるが、景気低迷もあり販売は厳しい見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての需要がある。</p> <p>愛知産は、食味も良く品質管理がしっかりなされており、果専門店や量販店などからの信頼が高いだけに評価も厳しい。出荷にあたっては特に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月17日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	18年	38,439	207	222	204	193	愛知 25%
	19年	37,066	183	185	179	187	長野 15%
	20年	32,995	222	218	228	219	茨城 8%
	21年	35,947	205	209	210	194	長崎 6%
	22年	33,692	225	243	223	206	
	5カ年平均	35,628	208	-	-	-	
	23年見通し	34,400	202	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と、葉物を中心とした長野、茨城から入荷する。昨年は野菜全体の入荷量が少なく単価高であったため、今年には入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だい	18年	2,347	86	85	92	83	青森 54%
	19年	2,208	77	81	79	73	愛知 34%
	20年	2,196	77	70	85	75	北海道 7%
	21年	1,867	92	86	91	99	長崎 2%
	22年	1,956	83	103	82	68	
	5カ年平均	2,115	83	85	86	79	
	23年見通し	2,100	70	70	70	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は青森、愛知が中心だが、低温が続いた影響で10日から2週間程度生育が遅れが見られる。今後気温が上昇し、需要が減ることで、価格安となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
に	18年	1,856	187	179	198	187	岐阜 43%
	19年	1,827	116	118	110	121	徳島 25%
	20年	1,543	204	189	210	219	愛知 11%
	21年	1,635	135	115	150	143	千葉 10%
	22年	1,516	157	146	159	174	
	5カ年平均	1,675	159	149	165	168	
	23年見通し	1,500	150	140	150	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は岐阜、徳島、愛知中心。中下旬には函館も入荷が始まる。震災以降消費は落ち込み気味で、販売も低下している。入荷不安や高値が昨年続いたこともあり、業務筋を中心に中国需要が増えている。 入荷量は前年並みで、単価はやや下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	135,837	223	231	220	218	千葉 18%
	19年	133,725	197	196	196	201	茨城 15%
	20年	127,808	238	235	242	238	長野 8%
	21年	134,861	224	221	229	221	群馬 7%
	22年	130,336	232	256	225	214	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	132,513	223	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		130,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>葉菜類の入荷は関東産地と長野、また果菜類、土物類は西南暖地からの入荷が中心となる。産地背景が変わる時期であるが各産地とも生育は概ね良好。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	18年	8,552	84	81	89	83	青森 53%
	19年	8,038	76	76	76	75	千葉 32%
	20年	8,458	72	64	80	74	北海道 6%
	21年	7,737	89	83	89	97	宮城 3%
	22年	8,676	78	97	75	63	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,292	80	80	82	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		8,000	80	75	80	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森と千葉からの入荷が中心となる。青森は、震災による播種遅れ、低温の影響でやや遅れている。北海道についても降雨、低温の影響で遅れ気味である。千葉の生育は平年並みで品質は良好。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
にんじん	18年	6,762	186	191	190	178	千葉 71%
	19年	6,914	102	107	94	106	埼玉 14%
	20年	6,262	218	236	204	211	茨城 5%
	21年	6,396	129	129	132	125	中国 2%
	22年	6,321	153	165	145	149	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,531	157	165	152	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		6,200	150	145	150	155	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉からの入荷が中心となる。3月の低温により一部生育遅れが懸念されたが4月の好天により回復し生育は順調、埼玉については降雨による播種遅れもあり生育はやや遅れ気味。 全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	2,500	98	109	113	72	長野 75%
	19年	2,330	76	82	76	72	茨城 24%
	20年	2,042	87	78	83	102	愛知 1%
	21年	2,142	74	83	71	68	0 0%
	22年	2,159	74	88	79	57	
	5ヵ年平均	2,235	82	89	85	74	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、5月下旬ごろに茨城など関東ものから、長野に移る。生育は順調で平年並みだが、茨城産の価格低迷が影響し、価格安となっている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格はやや下回る</p>					
キャベツ	18年	3,980	94	128	81	73	愛知 41%
	19年	3,779	78	69	73	94	茨城 41%
	20年	3,518	81	62	81	107	兵庫 5%
	21年	4,458	72	81	65	71	
	22年	3,789	87	116	87	65	
	5ヵ年平均	3,905	82	92	77	81	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,700	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、愛知中心。愛知産のピークは10日から15日頃。順調な作付で入荷も潤沢。卸価格は通常は量販店のセール価格にまで下がっているが、セールが行われないため、荷が動かない。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は大幅に下回る。</p>					
ほうれんそう	18年	351	526	483	515	591	岐阜 71%
	19年	344	489	446	471	563	茨城 10%
	20年	294	540	477	632	520	長野 6%
	21年	310	508	522	510	491	群馬 4%
	22年	277	513	560	486	497	
	5ヵ年平均	315	515	495	521	535	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	23年見通し	310	500	480	500	520	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心。5月から6月下旬が出荷のピークで、その後減っていく。産地が岐阜中心であるため原発事故の影響も受けにくい。 入荷量は前年をかなり上回り、価格はわずかに下回る。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	5,877	84	95	98	61	長野 45%
	19年	5,263	54	56	51	54	茨城 39%
	20年	5,280	66	52	59	87	群馬 14%
	21年	6,378	58	62	57	55	岩手 0%
	22年	5,368	56	65	59	45	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 23年見通し	5,600	55	45	55	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>茨城が終盤を迎え、長野、群馬の高冷地ものが入荷が増加する。長野、群馬の生育は概ね順調である。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は、茨城の残量次第ではあるが、上向き傾向にある。しかし、前年をわずかに下回る見込みである。</p>				
キャベツ	18年	15,956	82	96	73	74	千葉 50%
	19年	13,972	68	63	64	78	茨城 20%
	20年	14,767	67	60	63	80	神奈川 9%
	21年	17,218	63	63	60	65	東京 6%
	22年	15,975	75	103	69	55	(愛知産比率 5%)
	5ヵ年平均 23年見通し	16,000	55	50	55	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>関東産地からの入荷が中心。生育は、茨城順調で、千葉はこの時期へのウエイトが高まっており潤沢な入荷が見込まれる。したがって、入荷量は前年並みが見込まれ、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				
ほうれんそう	18年	1,545	453	411	417	558	群馬 29%
	19年	1,626	352	323	320	423	茨城 24%
	20年	1,616	405	393	419	403	栃木 16%
	21年	1,680	403	394	401	416	岩手 14%
	22年	1,673	405	441	380	394	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 23年見通し	1,600	400	390	400	410	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			<p>関東産地に加え岩手からの入荷が本格化してくる。群馬は中山間地ものを中心となるが順調な生育となっている。しかし、岩手は低温の影響も回復傾向でやや遅れが見えらるが震災の影響はない。入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をわずかに下回る見込み。</p>				

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	795	381	390	406	349	愛知 31%
	19年	839	366	375	396	329	茨城 17%
	20年	768	443	494	434	401	大分 17%
	21年	901	403	450	389	373	鳥取 7%
	22年	829	426	479	426	377	
ぎ	5カ年平均	826	403	437	409	365	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	800	400	400	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は愛知、茨城、大分中心。愛知のみ 長ねぎで、他は白ねぎの入荷。愛知の入荷 は安定しているが、茨城は震災の影響で入 荷が不安定。中国からの輸入も進んでい る。 入荷は前年をやや下回り、価格は前年を かなり下回る。					
しゅう	18年	2,186	127	196	104	91	長野 98%
	19年	2,064	144	180	141	118	群馬 1%
	20年	1,580	171	201	184	139	愛知 1%
	21年	1,824	126	145	131	106	兵庫 1%
	22年	1,729	128	225	116	81	
す	5カ年平均	1,876	138	189	133	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,800	120	130	120	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は5月に兵庫が終わり、今は長野が 中心となっている。6月中旬からは宮城が 始まる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年 をかなり下回っている。					
きゅう	18年	2,276	196	215	190	180	埼玉 26%
	19年	2,316	221	166	233	276	愛知 25%
	20年	1,780	233	254	222	223	長野 17%
	21年	1,876	202	211	212	175	群馬 15%
	22年	1,836	229	258	181	242	
り	5カ年平均	2,017	215	218	208	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,800	200	180	200	220	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		産地は北関東中心で、埼玉、愛知、長 野、群馬。気温の上昇に伴い生育も順調。 促成産地や愛知は終盤。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかな り下回る。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	4,523	277	264	314	257	茨城 64%
	19年	4,367	256	249	262	258	千葉 18%
	20年	4,353	367	437	339	320	中国 7%
	21年	4,270	359	383	327	370	埼玉 5%
	22年	4,210	333	383	317	297	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,345	318	342	312	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ぎ	23年見通し	4,250	300	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城、千葉からの入荷が中心となる。茨城の生育は低温の影響からやや遅れ気味であったが4月以降の天候回復で生育順調。千葉は病気の発生も少なく品質良好。入荷量はやや少なかった前年をわずかに上回り、価格は5月よりは持ち直すものの前年をかなり下回る見込み。							
し た ス	18年	8,085	119	170	104	89	長野 70%
	19年	7,480	132	161	127	114	群馬 18%
	20年	7,147	158	183	166	130	茨城 5%
	21年	8,159	118	130	120	104	岩手 5%
	22年	8,096	121	199	108	78	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,793	129	168	124	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ス	23年見通し	8,100	120	130	120	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野からの入荷が本格化する。長野の生育は概ね順調、群馬についても日照時間も多く生育は順調で、潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並み、価格についても、前年並みが見込まれる。							
き ゆ う り	18年	7,781	210	237	204	189	埼玉 31%
	19年	7,518	196	195	170	226	群馬 15%
	20年	6,901	229	248	223	218	茨城 12%
	21年	7,485	210	222	224	182	福島 12%
	22年	7,774	222	272	168	221	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,492	213	235	197	207	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
り	23年見通し	7,500	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
埼玉、群馬は一部のほ場で病害虫の発生がみられるものの生育は順調、福島は作業遅れが一部にあったものの現在は開花数・着果数も順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	1,351	291	304	284	284	愛知 100%
	19年	1,415	237	236	245	228	熊本 31%
	20年	1,184	293	278	293	311	宮崎 12%
	21年	1,358	269	280	298	224	高知 4%
	22年	1,233	302	277	309	325	
す	5カ年平均	1,308	277	274	285	272	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,300	270	280	270	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、宮崎中心。冬・春ものは6月で終了する。気温の上昇により生育旺盛で、消費も増える。木の状態も良好である。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る。</p>					
ト マ ト	18年	1,734	256	237	233	301	愛知 40%
	19年	1,879	214	205	212	223	三重 20%
	20年	1,814	218	211	216	226	熊本 19%
	21年	1,857	232	245	227	225	岐阜 10%
	22年	1,649	249	303	232	219	
ト	5カ年平均	1,787	233	239	224	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,700	220	210	220	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、三重、熊本、岐阜中心。気温の上昇に伴い生育旺盛で、玉つきも良い。今年は久しぶりに安定出荷となる見込み。上旬に夏秋トマトが加わるが、販売面は厳しい。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る。</p>					
し い た け	18年	294	544	474	519	672	熊本 41%
	19年	376	462	426	450	511	愛知 39%
	20年	319	524	515	519	538	和歌山 8%
	21年	423	477	503	475	451	
	22年	383	510	541	496	493	
ト マ ト	5カ年平均	359	500	492	489	524	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	400	470	450	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、愛知中心で、6月末から北海道に切り替わる。作付は順調で、中旬に出荷量のピークを迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	4,973	342	349	338	338	高知 27%
	19年	5,261	258	258	269	246	群馬 17%
	20年	4,661	346	343	335	362	福岡 16%
	21年	4,875	305	348	326	251	茨城 10%
	22年	4,273	348	365	342	338	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,809	318	331	321	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,400	310	315	310	305	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡に関東産地が加わる。高知は生育終盤であるが6月末まで潤沢な入荷が見込まれる。福岡も平年作。群馬についても日照もあり生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	9,161	252	252	230	272	栃木 20%
	19年	9,280	226	223	224	232	茨城 17%
	20年	8,249	248	238	254	249	千葉 15%
	21年	8,688	262	282	255	251	愛知 11%
	22年	9,081	266	349	253	218	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	8,892	251	269	243	244	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,100	250	240	250	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、本県からの入荷もある。栃木は、無加温でやや遅れがみられる。千葉は、生育順調で、4月の好天により平年よりもやや早い出荷となっている。本県産は潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	1,079	519	461	478	630	愛知 25%
	19年	1,225	441	427	433	463	熊本 23%
	20年	1,135	502	492	317	515	千葉 19%
	21年	1,321	450	452	449	449	宮崎 6%
	22年	1,402	471	538	446	433	(愛知産比率 25%)
	5ヵ年平均	1,232	475	476	426	492	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,250	480	460	480	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本が中心に、関東産地に加え東北産地からの入荷となる。各産地とも現況は順調な生育だが、今後の曇天、多湿等の天候によっては出荷減少もある。気温が上昇すれば引き合いが強くなると見込まれる。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	718	330	436	288	268	茨城 51%
	19年	681	265	249	266	283	高知 24%
	20年	612	341	298	367	364	宮崎 23%
	21年	630	298	263	344	292	
	22年	575	318	336	364	262	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	643	310	318	323	293	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	600	300	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、高知、宮崎中心。鹿児島は終わり、高知も終盤となって、関東に切り替わる。上旬、中旬の販売は厳しい見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	18年	3,669	118	125	114	113	長崎 61%
	19年	3,219	80	81	77	85	静岡 17%
	20年	2,519	147	143	150	149	北海道 13%
	21年	2,702	160	153	167	163	
	22年	3,294	184	174	197	186	
いしょ	5カ年平均	3,081	136	134	139	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,200	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は鹿児島が終了し、長崎に切り替わる。他に静岡、北海道。生育は順調でし玉中心。愛知は作付面積が減ったことで入荷量も減っている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに下回る。</p>					
たまねぎ	18年	4,936	62	61	61	65	愛知 62%
	19年	4,300	53	47	52	63	兵庫 27%
	20年	4,064	63	66	65	59	北海道 7%
	21年	4,821	75	78	77	67	佐賀 2%
	22年	3,973	86	95	81	81	
ねぎ	5カ年平均	4,419	68	69	67	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,500	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、兵庫、北海道。中生、晩生は生育順調で大玉傾向にある。兵庫も生育が遅れてはいたが、回復気味。販売面は消費の落ち込みが厳しい。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	18年	2,752	332	447	310	236	茨城 90%	
	19年	2,828	246	273	246	220	宮崎 3%	
	20年	2,288	366	357	409	335	高知 2%	
	21年	2,366	307	331	330	253	岩手 2%	
	22年	2,342	333	427	362	239	(愛知産比率 -%)	
マン	5カ年平均	2,515	314	366	327	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	2,400	270	270	270	270		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		西南暖地が終了し、茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育順調ではあるが、値段次第で切り上げが早くなる可能性もある。岩手は前年より若干遅れているが問題はない。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						月
ばれいしょ	18年	8,756	123	128	121	117	長崎 48%	
	19年	8,969	78	80	78	76	静岡 17%	
	20年	7,374	147	148	145	147	千葉 10%	
	21年	7,877	160	161	161	158	茨城 9%	
	22年	8,517	198	211	194	186	(愛知産比率 0%)	
いしょ	5カ年平均	8,299	140	144	139	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	8,800	160	180	160	140		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		長崎や静岡からの入荷が中心。平年に比べ長崎が10日程、静岡が2週間生育遅れとなっている。現況、病虫害の発生はみられないが小玉傾向。ピークとなる中旬には肥大も進むと予想される。 入荷量はやや前年を上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						月
たまねぎ	18年	12,419	72	74	66	78	佐賀 59%	
	19年	10,662	66	55	69	76	兵庫 9%	
	20年	11,235	84	86	83	81	香川 9%	
	21年	10,942	95	92	92	103	群馬 4%	
	22年	10,878	98	96	96	102	(愛知産比率 2%)	
ねぎ	5カ年平均	11,227	83	81	81	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	12,000	80	75	80	85		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		佐賀からの入荷が中心となる。佐賀はやや生育遅れがみられるが、露地早生の本格化に伴い、6月前半までは潤沢な入荷が見込まれる。淡路産についても生育遅れがあったものの回復傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						月

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	11,892	342	331	348	346	フィリピン 25%
	19年	11,642	347	343	343	353	愛知 16%
	20年	10,549	342	332	338	356	熊本 14%
	21年	11,280	316	306	308	335	アメリカ(合) 10%
	22年	9,487	344	327	360	347	
	5カ年平均	10,970	338	-	-	-	
	23年見通し	10,200	300	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>冬が低温であったため、全体的に生育が遅れている。消費者動向が冷え込んでいるため、販売面は全体的に苦戦しており、今後も続く見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
その他メロン	18年	1,489	301	349	336	284	茨城 33%
	19年	1,386	296	350	312	281	熊本 30%
	20年	1,340	267	312	285	278	愛知 21%
	21年	1,558	237	253	255	266	メキシコ 11%
	22年	1,169	315	380	345	269	
	5カ年平均	1,388	281	326	305	276	
	23年見通し	1,200	280	280	280	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、熊本、愛知中心。作付面積が全体的に減少している。作柄、着果はとても良い。6月は震災の影響を受けている茨城が中心となるため、価格が不安定。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格はかなり下回る見込み。</p>					
すいか	18年	2,212	183	198	188	167	愛知 56%
	19年	2,383	154	179	155	140	熊本 35%
	20年	2,024	164	176	167	150	鳥取 6%
	21年	2,370	156	180	156	136	石川 1%
	22年	1,705	195	216	215	191	
	5カ年平均	2,139	169	188	174	155	
	23年見通し	2,000	170	170	170	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本、鳥取中心。愛知の作付面積が減っている。昨年は生育が悪かったため、前年に比べると入荷量は増えているが、実際は平年並み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格はかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	34,080	375	348	390	387	茨城 18%
	19年	34,498	376	382	380	368	フィリピン 14%
	20年	32,636	382	371	392	381	千葉 12%
	21年	37,774	341	318	346	357	熊本 10%
	22年	31,851	373	362	383	375	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	34,168	369	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	34,000	345	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、メロン類中心に「おうとう」や「ぶどう」が入荷する。「おうとう」は主力の山形(露地もの)の生育がやや遅れているが、入荷量が多い見通し。「ぶどう」も厳冬期の低温で生育遅れの状況にある。入荷量は不作だった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
その他 メロン	18年	5,789	354	385	374	304	茨城 60%
	19年	5,545	355	408	360	307	熊本 4%
	20年	4,973	342	382	340	308	千葉 4%
	21年	6,804	274	281	274	265	愛知 0%
	22年	4,768	371	442	389	311	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	5,576	328	359	334	294	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,000	335	350	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本がほぼ終了し、茨城中心に入荷する。茨城の生育は平年並みで、6月中旬まで入荷が多い。しかし、作付面積の減少により、入荷量は不作だった前年を上回る予想である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり下回る見込みである。</p>					
すいか	18年	8,787	195	216	196	177	千葉 38%
	19年	11,642	170	195	172	155	熊本 28%
	20年	9,591	181	204	186	159	茨城 17%
	21年	10,217	162	147	166	178	鳥取 8%
	22年	8,926	221	237	228	207	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	9,833	184	198	188	174	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,000	180	200	180	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本から千葉に切り替わる。千葉、茨城は着果、肥大ともに良好で平年並みの生育であり、不作だった昨年を上回る予想。鳥取も開花時の好天で着果が良く、小玉だった昨年を上回る予想。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月23日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	2,850	35	
		20年	2,772	24	
		21年	2,416	43	
		22年	1,896	59	
		4ヶ年平均	2,483	39	
	23年見通し	2,000	45		
概要	<p>今月から夏菊に切り替わりが始まる。しかし、寒さの影響もありやや遅れそう。全体の作付は昨年とほとんど変わらない。長野県産も一部では赤が出てくるが昨年実績では15日くらいだが、全体ではやや遅れが見られる。地元の菊も1週間から10日くらい遅れているので中旬から下旬にかけて多くなりそう。</p>				
小 ぎ	実 績	19年	1,568	19	
		20年	1,577	18	
		21年	1,353	32	
		22年	912	36	
		4ヶ年平均	1,352	25	
	23年見通し	1,000	30		
概要	<p>沖縄産が終わり愛知、長野、奈良へと移行する。特に高冷地産の遅れはかなりありSTEMの短い物が多いだろう。ここ2、3年寒さの影響で出荷がやや遅れ価格は少し強めで推移している。後半あたりから価格は安定はするだろうが後は今後の天候に左右される。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,198	36	
		20年	1,099	37	
		21年	1,070	41	
		22年	1,047	38	
		4ヶ年平均	1,104	38	
	23年見通し	1,100	40		
概要	<p>長野を中心に愛知、北海道から入荷。母の日は輸入が少なかった分最後まで高値が続き、明けても堅調な動きとなっている。暖地物が終わり、高冷地物の出荷も始まるが、春先の低温から遅れが発生しておりスタンダード中心に谷間が発生すると思われる。</p>				
か す み	実 績	19年	147	72	
		20年	161	71	
		21年	139	78	
		22年	134	67	
		4ヶ年平均	145	72	
	23年見通し	135	65		
概要	<p>北海道、長野、福島等高冷地産の入荷。中旬までは暖地産の入荷もあるが、品質面で価格は高いが高冷地の引き合いが強い。とはいえ、業務中心の販売となるため、量が多いと販売は苦しい。品種はアルタイル中心。</p>				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	452	125	
		20年	457	128	
		21年	427	139	
		22年	337	154	
	4ヶ年平均		418	135	
23年見通し		350	140		
概要	新潟、高知、愛知、静岡、埼玉、岐阜からの入荷。オリエンタルは前半は入荷少なそう。高冷地の入荷で中旬以降は量も増えるが、販売は業務中心で動きは悪い。LA, 鉄砲は少なめに入荷で、価格は中値で推移				
洋らん	実績	19年	326	86	
		20年	347	78	
		21年	287	92	
		22年	321	81	
	4ヶ年平均		320	84	
23年見通し		320	80		
概要	梅雨時期に入り、入荷量は徐々に減少していくと思われる。減少に伴い、価格は全般に上昇傾向が予想されるが、安定するには低迷している業務需要に期待したい。				
ばら	実績	19年	1,137	45	
		20年	1,115	46	
		21年	1,107	50	
		22年	1,045	48	
	4ヶ年平均		1,101	47	
23年見通し		1,100	45		
概要	主として愛知、三重、岐阜、和歌山中心の入荷。産地により冷房又は株休めのための剪定を行う産地もあり、出荷量は多少なくなる見込み。震災直後の自粛ムードもひと段落し、ブライダル需要もある程度見込める。				
枝もの	実績	19年	1,357	41	
		20年	1,220	43	
		21年	1,242	43	
		22年	1,458	36	
	4ヶ年平均		1,319	41	
23年見通し		1,500	40		
概要	岐阜、長野が中心となり入荷。新芽も止まり、シキミやチラが出回る。雨次第で枝物の価格は動くが、稽古需要の少ない今は苦戦しそう。栽培物は和歌山、愛知が出そろふ。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	18年	29,956	979	
		19年	23,238	1,058	
		20年	23,173	1,088	
		21年	25,243	997	
		22年	15,570	967	
	5ヶ年平均		23,436	1,018	
	23年見通し		17,000	950	
概要	<p>入荷量は昨年より微増か。メインは4号～6号だが、単価面は厳しそう。鉢を使った企画商品の提案が増加すると思われる。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(95.8%)、2位三重県(2.7%)、3位滋賀県(1.0%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	18年	27,041	3,229	
		19年	24,316	3,241	
		20年	25,642	3,106	
		21年	28,794	2,706	
		22年	23,846	2,654	
	5ヶ年平均		25,928	2,985	
	23年見通し		22,000	2,500	
概要	<p>入荷量はやや減少か。下旬より中元商戦が始まるが、単価面では厳しそう。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(68.3%)、2位静岡県(7.6%)、3位宮崎県(6.5%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	18年	25,619	161	
		19年	17,066	147	
		20年	30,567	165	
		21年	38,145	202	
		22年	26,970	184	
	5ヶ年平均		27,673	176	
	23年見通し		27,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。入荷量に対し、注文数が減少し、競売は厳しそう。ただ、その中で、復色系や巨大輪種に人気集中しそう。 昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(71.7%)、2位愛知県(17.3%)、3位三重県(5.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ジ ア	実 績	18年	22,884	389	
		19年	20,351	474	
		20年	23,263	424	
		21年	38,313	456	
		22年	45,729	392	
	5ヶ年平均		30,108	424	
	23年見通し		45,000	390	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。カシワバ系統のアジサイを中心に玉アジサイ、ガクアジサイ、秋色アジサイが入荷の見込み。単価面は厳しそう。鉢サイズは5号を中心に6号もありそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(79.9%)、2位群馬県(7.7%)、3位埼玉県(3.1%)となっている。</p>				
ス パ ティ フ ィ ラ ム	実 績	18年	35,302	266	
		19年	22,945	333	
		20年	20,913	250	
		21年	23,194	266	
		22年	23,770	235	
	5ヶ年平均		25,225	270	
	23年見通し		23,000	230	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。3号～4号を中心とした入荷となりそう。単価面は厳しそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重県(54.6%)、2位愛知県(36.3%)、3位岐阜県(7.7%)となっている。</p>				
ド ラ セ ナ 類	実 績	18年	64,422	745	
		19年	54,090	675	
		20年	54,542	686	
		21年	58,131	562	
		22年	31,960	648	
	5ヶ年平均		52,629	666	
	23年見通し		32,000	600	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ユッカ、マッサン、コンシを中心に、コルジリネ系も入荷がありそう。単価面は厳しそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(67.4%)、2位沖縄県(15.4%)、3位三重県(6.6%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	105,340	132.3	8,987,832	123.9	85	93.7	262,698	135	22,910,521	121	87	86.2
トマト	171	29.4	55,263	20.4	323	69.4	478	38	155,674	31	325	91.5
たまねぎ	41,276	126.2	2,179,142	129.1	53	102.3	119,437	141	5,852,102	142	49	104.9
にんにく	1,538	112.3	364,208	182.3	237	162.3	4,087	92	939,844	143	230	154.6
ねぎ	5,409	129.3	436,406	125.1	81	96.7	13,224	124	1,145,302	124	87	97.6
ブロッコリー	2,311	146.8	415,832	148.1	180	100.9	6,570	112	1,173,744	121	179	112.2
結球キャベツ	6,193	211.4	204,419	201.7	33	95.4	11,742	247	397,850	239	34	95.0
にんじん・かぶ	12,324	332.7	620,006	317.7	50	95.5	20,820	361	1,024,677	360	49	113.8
ごぼう	5,354	172.2	583,914	339.4	109	197.1	10,830	131	1,044,963	239	96	187.7
えんどう	269	241.5	75,448	258.0	280	106.8	516	74	147,051	84	285	114.9
アスパラガス	1,903	83.7	808,259	89.7	425	107.2	5,508	104	2,531,772	105	460	92.3
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	499	78.3	125,636	79.9	252	102.2	1,946	86	500,734	90	257	104.1
かぼちゃ	22,331	106.0	1,362,004	109.7	61	103.5	51,260	109	3,119,424	107	61	94.7
果実(生鮮・乾燥)	178,739	101.1	17,591,890	95.6	98	94.6	428,594	100	42,146,205	97	98	98.9
バナナ	90,749	92.9	5,860,848	87.5	65	94.1	246,484	98	14,556,637	92	59	99.8
パイナップル	13,738	117.3	806,717	111.5	59	95.0	33,331	121	1,893,021	115	57	99.3
レモン	3,325	103.3	353,095	78.7	106	76.2	10,179	92	1,122,526	76	110	84.9
オレンジ	16,885	165.9	1,551,417	165.1	92	99.5	28,563	122	2,681,597	122	94	99.6
グレープフルーツ	29,060	91.4	2,610,743	79.2	90	86.6	52,333	83	4,911,077	74	94	87.4
メロン	2,779	125.4	305,891	120.9	110	96.4	7,996	107	859,869	107	108	99.2
ぶどう	1,929	100.1	347,888	119.2	180	119.1	2,904	86	559,464	98	193	101.7
キウイ	181	2345.9	38,196	1112.3	211	47.4	382	4,751	77,202	2,081	202	24.7
いちご	4	54.6	2,438	61.6	659	112.9	14	66	10,967	81	782	118.0
切花(生鮮・乾燥)	5,031	94.9	3,404,186	90.7	677	95.6	10,696	99	7,594,526	100	710	101.7
鳥獣肉類	150,933	105.1	67,698,318	110.6	449	105.2	427,811	111	185,437,774	115	433	105.2
牛肉(くず肉含む)	43,110	100.6	18,844,384	108.3	437	107.6	116,356	111	48,195,298	115	414	104.7
豚肉(くず肉含む)	67,382	106.0	35,310,933	106.0	524	100.0	187,751	109	98,296,764	109	524	100.0
鶏肉	32,742	106.5	8,581,742	131.2	262	123.2	102,904	112	25,983,681	138	253	125.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	119,743	88.9	67,678,815	105.2	565	118.2	382,713	96	209,083,527	110	546	116.3
まぐろ類	19,268	84.8	17,864,148	111.4	927	131.3	50,868	98	45,787,870	126	900	131.3
さば・さんま・あじ・いわし	6,411	102.2	1,040,531	109.6	162	107.3	24,109	85	4,055,227	90	168	105.5

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,573	182.3	465,353	165.7	296	90.9	10,380	82	3,334,530	91	321	112.1
うんしゅうみかん	11	60.1	5,431	71.0	476	118.1	143	66	90,496	110	633	168.3
りんご	1,526	186.3	411,217	188.5	269	101.2	9,980	82	2,938,736	88	294	107.8
なし	0	27.1	227	30.8	597	113.6	21	49	8,750	48	412	97.8
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	201,945	83.9	-	-	-	-	592,551	98	-	-
緑茶	163	85.4	316,770	86.8	1,946	101.6	501	97	918,167	96	1,834	99.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	22年11月	99.9	121.1	110.0	103.6	101.8
	12月	99.6	107.3	109.8	103.7	102.8
	23年 1月	99.4	112.4	113.0	104.0	103.0
	2月	99.3	116.3	107.4	103.7	100.9
	3月	99.6	111.6	102.3	104.0	102.0
愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
	22年11月	99.6	113.8	104.5	103.1	96.6
	12月	99.2	98.9	105.3	102.6	97.1
	23年 1月	99.0	104.6	115.8	102.5	97.9
	2月	98.9	106.8	107.9	100.5	95.1
	3月	99.2	99.3	100.9	101.4	98.4

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	22年11月	110.2	87.7	139.2	154.8	99.5
	12月	100.8	87.3	108.0	141.0	104.0
	23年 1月	102.2	85.6	116.4	134.4	99.1
	2月	105.1	85.6	126.4	134.1	102.3
	3月	100.3	85.6	113.0	103.7	103.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシカ」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
22年11月	1,845	281	210	795	480	358	193	383	261	665	761	167	492
12月	1,810	168	147	666	364	331	122	340	294	553	577	159	470
23年 1月	1,835	168	140	736	466	328	120	302	316	644	575	178	471
2月	1,827	203	163	722	644	321	136	305	316	583	556	165	494
3月	1,806	193	181	635	397	361	151	333	292	485	525	160	476
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
22年11月	504	317	376	-	202	729	556	154	167	297	230	820	408
12月	525	350	385	169	203	764	558	149	169	331	213	865	399
23年 1月	672	328	392	163	214	822	540	148	151	296	214	861	414
2月	699	319	382	151	217	842	544	145	160	294	211	744	396
3月	731	268	354	136	222	785	536	151	166	293	204	802	412

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 456
平成23年6月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417